

6 環境への配慮

上下水道事業は、資源やエネルギーを消費する事業であることから、事業運営に当たっては、できるだけ環境負荷の低減を図るなど、環境に十分配慮します。

(1) 有効率・有収率の向上

ア 水道事業

有効率の向上には、配水管や給水管の機能維持と漏水防止が効果的であることから、引き続き配水管整備と漏水調査を計画的に進めます。

また、自動検針や漏水の早期発見、より詳細な水需要データの集積と応用活用を可能とするスマートメーターについて、情報収集しながら導入を検討します。

イ 下水道事業

分流区域において、不明水調査に基づき適切な対策を実施し、本来処理する必要のない雨水などを下水から排除し、有収率の向上を図り、処理費用の適正化に努めます。

(2) 環境負荷の低減

ア 環境保全活動の推進

エコオフィスやエコ通勤の一層の推進を図るなど、職員一人ひとりの環境に対する意識を高めながら、環境保全の推進に取り組みます。

また、現在、管理している公用車を計画的に低排出ガス車へ更新することにより、排出ガスの低減を図ります。

イ 資源の循環利用

工事で使用する路盤材やアスファルト合材などについては、再生骨材や発生土、改良土などのリサイクル製品をできるだけ使用します。

また、民間事業者が下水熱の利用を容易に検討できるよう、下水熱の賦存量や存在位置を把握できる「下水熱広域ポテンシャルマップ」の作成を検討します。

ウ 施設の更新と整備（再掲）

施設の更新に当たっては、既存施設の統廃合を考慮しながら維持管理の効率化を図るとともに、リサイクル材料や省エネルギー機器を採用することにより、環境負荷の低減に努めます。また、太陽光発電や小水力発電などの新エネルギーについても、施設更新にあわせて導入を検討します。